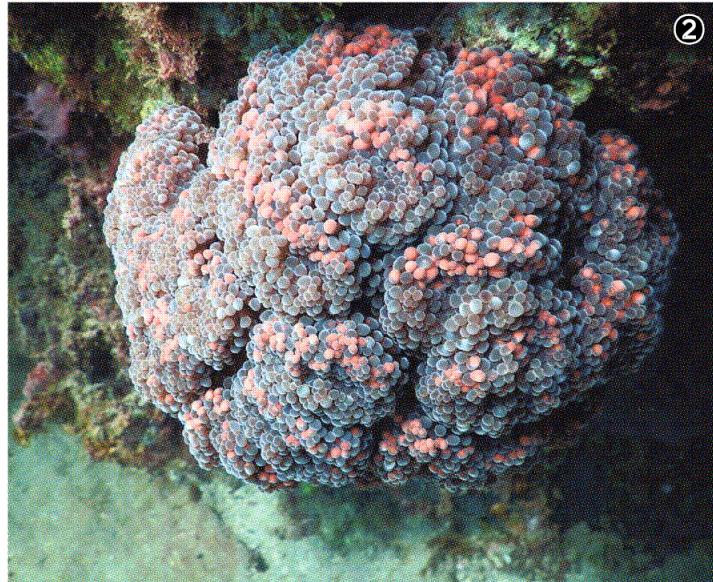


①一般的なサンゴの産卵。丸い粒は幼生ではなく卵と精子のかたまり②タネガシマハナサンゴの雌。オレンジ色に見える部分に幼生が入っています③雌の触手の中で動き回る幼生④「日本産有藻性サンゴ類WEB図鑑」のタネガシマハナサンゴに関するページ



日本産有藻性サンゴ類WEB図鑑
Offshore Algae-Symbiotic Corals of Japan

サイト内検索 powered by search

検索
表示数 [20件ずつ]
更新日 [指定なし]

検索結果はタイトル順表示です。

Top page
用語集
科・属リスト
Site Map
掲載種等一覧

■REFERRAL 以降の項目

Acroporidae アコロア科

Agariciidae アガリカ科

Dendrophylliidae デンブリ科

Euphylliidae エウフィリ科

Pachyseridae

Pontidiidae ポンティ科

Rhizangiidae リザンギ科

■VACATINA ヴァカチナ科

Astrophylliidae アストロフィリ科

Caryophyllidae カリオフィリ科

Coscinanidae コスチナ科

Diplodraeidae ダイローデア科

Fungidae フンギ科

Leptastreidae レプタスリ科

Top page > 科・属リスト > Euphylliidae > Fimbriaphyllia > Fimbriaphyllia paraglabrescens

Euphylliidae

Fimbriaphyllia ナガリ

Fimbriaphyllia paraglabrescens (Veron, 1990)

(Figs. 1-3)

Euphylla paraglabrescens Veron, 1990: 162, figs. 68-70, 91, 92 [Ojioya Port, T. Nishihira 1991: 256, 2 figs.; Veron 1992: 193; Nishihira & Veron 1995: 388, : 2000: vol. 2, 27, figs. 1, 2, 1 skeleton fig.]; Dai & Horng 2009: vol. 1, 150, 2 figs. et al., 2015: 88, 3 figs.; Dewa 2016: 2, 11 figs.; Ministry of the Environment, Japan: fig.; Nishihira 2019: 49, 5 figs.; Kagoshima Prefectural Board of Education 2019: 1 *Fimbriaphyllia paraglabrescens*; Rowlett 2020: 491, 6 figs.

タネガシマハナサンゴ 改称

(图1-3)

ハナサンゴモドキ 西平, 1991: 256, 2図; 西平・Veron 1995: 368, 3図; 杉原ら 2015: 2016: 2, 11図; 横浜市 2017: 4, 1図; 西平 2019: 49, 5図; 鹿児島県教育委員会 2019: .



図1. タネガシマハナサンゴ。 Fig. 1. *Fimbriaphyllia paraglabrescens* (Veron, 1990).



4



「タネガシマハナサンゴ」です。現在は屋久島や台湾でも見つかっています。幼生はあまり泳ぎ回らないため分布が広がりにくく、現存するサンゴで最も絶滅の危険性が高いとされています。でも図鑑やインターネットで調べても、タネガシマハナサンゴの

「タネガシマハナサンゴ」です。現在は屋久島や台湾でも見つかっています。幼生はあまり泳ぎ回らないため分布が広がりにくく、現存するサンゴで最も絶滅の危険性が高いとされています。でも図鑑やインターネットで調べても、タネガシマハナサンゴの

名前は見つけにくいかもしません。なぜならこのサンゴには当初、ハナサンゴによく似た別の種として「ハナサンゴモドキ」という標準和名が付けられていましたからです。標準和名とは、世界共通の名前「学名」の代わりに日本で使われる名前のことです。「もどき(偽物)」扱いなんて残念ですね。島の「宝」として誇れる名に変更されることは、地元の人たちの願いでした。研究が進んでハナサンゴの仲間は二つのグループに分けられることになりました。ハナサンゴモドキは当初ハナサンゴと同じグループに分類されていましたが、日本造礁サンゴ分類研究会によって昨年見直され、学名変更に合わせて、標準和名もタネガシマハナサンゴへと改められました。

タネガシマハナサンゴ 「島の宝」誇れる名に

島の玄関口・西之表港では現在、大規模な工事計画が進行しています。埋め立て予定地では多くのタネガシマハナサンゴが見つかっており、島の「宝」を守るために移植作業に取り組んでいます。(学習交流係長・出羽尚子)